

平成 23年 12月 15日

上田市長 母袋 創 一 様

上田城南地域協議会  
会長 田 中 明

意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり上田城南地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	「上田道と川の駅」を活用した地域振興と拠点づくりについて
2 意見内容	<p>上田城南地域協議会では、地域まちづくり方針に掲げる『「上田道と川の駅」を活用した地域振興と地域防災拠点づくり』の実現に向け、市担当課及び運営団体の協力を得て、現状施設完成までの経過(添付資料-1 参照)と、開業からの運営及び協議会組織の調査・研究を進めてまいりました。</p> <p>「上田道と川の駅」は、様々な面において地域づくりの拠点となり得る施設であり、また地域が誇る施設に展開すべきであると再確認したと同時に、反面現状はその機能が十分発揮できない施設にとどまっているとの結論に至りました。</p> <p>「上田道と川の駅」を活用した地域振興と拠点づくりに向けて、具体的な提言を次のとおりとりまとめましたので、ここに意見書を提出いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>提言 1 地域振興・地域活性の拠点としての機能の充実について 提言 2 安全・安心な地域づくりと健康増進のための拠点としての機能の充実について 提言 3 文化振興の拠点としての機能の充実について 提言 4 教育及び情報の受発信の拠点としての機能の充実について 提言 5 自然環境と調和しかつ地勢を活用した施設とすることについて 提言 6 地域協議会としての今後の関わり方について</p>

## **提言 1** 上田道と川の駅の地域振興・地域活性の拠点としての機能の充実について

上田道と川の駅はオープン以来、いくつかの地域振興イベントを開催してまいりましたが、駐車スペースが限られており、そのたび満車状態となっています。この打開策として次のとおり提言します。

- ① 駐車場を拡幅整備すること
- ② 大型車用駐車場の設置数及び配置の見直しによる普通車駐車場の確保
- ③ 駐車場内通路及び導線の見直しによる構内安全確保と敷地の有効利用

現状の施設では手狭であり、活動者の参加及び様々な発信(提供)が十分に出来ない状況から、現状施設(物販・飲食施設)の改修(利活用)と新たな施設整備が必要です。

なお、整備にあたっては現運営団体の状況を市当局が把握し、施設規模や設備内容等を共に検討することが必要です。

交流センターの利活用に関しては、施設の紹介、カルチャー教室の開催、ギャラリーとしての活用等、来訪者の休憩所のみならず、市民の様々な発信施設としての活用を進めることを提言します。

なお、現在の飲食・物販は交流センターを活用することで成立していますが、交流センターの用途についてさらに検討して頂きたい。

来訪者の滞在時間を延ばすため、次の通り施設の整備と運営を検討することを提言します。

- ① 地域食材を活かした加工所の設置及び運営
- ② 手芸工芸品の工房の設置及び運営
- ③ 子供の遊び場、年輩者の拠り所など、多世代の“たまりの空間づくり”の検討

## **提言 2** 上田道と川の駅を活用した安全・安心な地域づくりと健康増進のための拠点としての機能の充実について

災害・防災マップの表示および保管品の説明展示により、地域の防災意識の高揚を図ることを提言します。

- ① 防災拠点としての施設、機能の紹介を日ごろから行うこと
- ② 防災と交通安全の意識高揚の為の告知、広報の充実と安全運動の実施

③ 城南地区自治会全参加による、災害と交通安全を併せた「安全の日」の設定と防災啓発イベント事業の実施

当該地籍の地勢を活用したウォーキング、トレッキングルートの整備とサインの充実を提言します。

- ① 千曲公園を含めた遊歩道整備とマップづくり、その掲示と配布
- ② 千曲川沿いコース、古戦場コースなどのルート設定

### 提言3 上田道と川の駅を活用した文化振興の拠点としての機能の充実について

大きな広場(集客スペース)があるため、道と川の駅を利用したイベント等を企画し、アーティストや演者などの表現者の募集を行い、地域振興イベント等を開催することを提言します。

さらに、イベント時にはスタッフ等が利用する舞台裏が必要なことから、表現場所(ステージ、観賞スペース)の整備を提言します。

### 提言4 上田道と川の駅の教育及び情報の受発信の拠点としての機能の充実について

環境教育の場として活用を促進させることを提言します。

観光案内の拠点と位置付けることを提言します。

- ① 上田道と川の駅を中心とした観光案内図の制作と配布
- ② 沿道のサインの設置

情報の受発信については、上田道と川の駅の運営に直結し、リアルタイムな情報の受発信が必要なため、無線 LAN システムの構築などの先端技術の活用から、ポスターやチラシなどの紙媒体によるものまで、行政と運営団体の密なる協議により進めることを提言します。

本年 7 月オープンの「おとぎの里物販所」は、来訪者及び地域からの参加者の増にも寄与しており、またイベントの開催など運営者の活動の努力も見られますが(添付資料-2 参照)、残念なことは広報力の不足により、広く市民にその活動の内容が届かないこと、運営団体の活動の内容に比べ施設が不足していると考えられ、これらは、活動団体だけでは解決できないことでもあります。

## **提言5** 自然環境と調和しかつ地勢を活用した施設とすることについて

公園内の植樹と植栽(癒しと憩いの空間づくり)を進めることを提言します。

施設入口のサインの設置を提言します。

千曲公園からの眺望や対岸からの岩鼻の景色を施設内にて紹介し、現地に誘導する仕組み作りの検討を提言します。

## **提言6** 地域協議会としての今後の関わり方について

引き続き上田城南地域協議会として、「上田道と川の駅」の賑わいの創出のための検討を続け、提言等を行う必要がありますので、整備や方向性についての具体的内容につきましては、地域協議会に諮ることとするよう提言します。